

## 令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次
外国語	英語コミュニケーションⅠ	前田	必履修	3単位	1年次
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書
All Aboard! Communication I (東京書籍・701)			9回	5時間	1回
All Aboard! Communication I (東京書籍インターネット講座)					
科目の指導目標					
区分	回数	指導内容			
添削指導	第1回	レポート1 P20~27			
	第2回	レポート2 P28~37			
	第3回	レポート3 P38~47			
	第4回	レポート4 P48~59			
	第5回	レポート5 P60~77			
	第6回	レポート6 P78~87			
	第7回	レポート7 P88~97			
	第8回	レポート8 P98~111			
	第9回	レポート9 P112~121、130			
	第10回				
面接指導	1時間目	単語及び語句等の確認作業			
	2時間目	レポート1、2、3のポイント解説			
	3時間目	レポート4、5、6のポイント解説			
	4時間目	レポート7、8、9のポイント解説			
	5時間目	全体のまとめ			
		※スクーリング時、出欠簿に観点Cの3段階評価○×△を記入する。			
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題			
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度			
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価			

## 令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次	
外国語	英語コミュニケーションⅡ上	前田	選択	2単位	2年次	
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書	
701 All Aboard! Communication II (東京書籍)			6回	4時間	1回	
701 All Aboard! Communication II (東京書籍インターネット講座)						
科目の指導目標						
必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。						
必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。						
区分	回数	指導内容				
添削指導	第1回	レポート1 教科書P.8～19				
	第2回	レポート2 教科書P.20～29				
	第3回	レポート3 教科書P.30～41				
	第4回	レポート4 教科書P.42～55				
	第5回	レポート5 教科書P.56～69				
	第6回	レポート6 教科書P.70～77				
面接指導	1時間目	レポート1～6の各[1]の問題(単語及び熟語)の確認作業				
	2時間目	レポート1の解説授業				
	3時間目	レポート3の解説授業				
	4時間目	レポート4の解説授業				
		※スクーリング時、出欠簿に観点Cの3段階評価○×△を記入する。				
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題				
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度				
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価				

## 令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次	
外国語	英語コミュニケーションⅡ下	前田	選択	2単位	3年次	
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書	
701 All Aboard! Communication II (東京書籍)			6回	4時間	1回	
701 All Aboard! Communication II (東京書籍インターネット講座)						
科目の指導目標						
基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。						
区分	回数	指導内容				
添削指導	第1回	レポート1 教科書P.78～91				
	第2回	レポート2 教科書P.92～105				
	第3回	レポート3 教科書P.106～119				
	第4回	レポート4 教科書P.120～133				
	第5回	レポート5 教科書P.134～147				
	第6回	レポート6 教科書P.148～155				
面接指導	1時間目	レポート1～6の各[1]の問題（単語及び熟語）の確認作業				
	2時間目	レポート3の解説授業				
	3時間目	レポート4の解説授業				
	4時間目	レポート5の解説授業				
		※スクーリング時、出欠簿に観点Cの3段階評価○×△を記入する。				
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題				
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度				
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価				